

# 資料 2

## 坂出市の現状について

### 1. 障がい者を取り巻く現状

#### (1) 障害者手帳（身体・療育・精神）所持者の状況

総計としては減少傾向にあり、令和3年度末は3,000人を割り込みました。療育手帳および精神障害者保健福祉手帳は微増または横ばいの一方で、身体障害者手帳所持者数は、直近5年間で毎年減少しています。

障害者手帳所持者数の推移（各年度末・人）

年	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	計
平成29	2,400	418	381	3,199
平成30	2,338	424	404	3,166
令和元	2,246	422	412	3,080
令和2	2,189	429	424	3,042
令和3	2,115	428	412	2,955

#### (2) 身体障害者手帳

障がい程度別の状況を見ると、直近5年間の動向としては、1級が97人減、次いで4級の75人減が続きます。次に、障がい部位別の状況を見ると、肢体不自由が5年間で210人減と減少幅が大きくなっています。

障がい程度別 身体障害者手帳所持者数の推移（各年度末・人）

年	総数	内訳					
		1級	2級	3級	4級	5級	6級
平成29	2,400	764	332	357	691	118	138
平成30	2,338	755	319	352	657	115	140
令和元	2,246	722	311	340	627	115	131
令和2	2,189	694	303	336	620	109	127
令和3	2,115	667	285	317	616	108	122

障がい部位別 身体障害者手帳所持者数の推移（各年度末・人）

年	総数	内訳				
		視覚	聴覚 平衡	音声 言語	肢体	内部
平成 29	2,400	178	220	17	1,278	707
平成 30	2,338	168	216	15	1,222	717
令和元	2,246	160	214	17	1,165	690
令和 2	2,189	161	213	15	1,119	681
令和 3	2,115	155	201	16	1,068	675

（参考）市内聴覚障がい者の状況（年齢別等級者数，令和 3 年度末・人）

年齢	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	計
0～17	0	0	0	1	0	0	1
18～64	1	12	2	6	0	2	23
65～	13	29	25	43	1	65	176
計	14	41	27	50	1	67	200

（3）療育手帳

総計は微増となっています。直近 5 年間で、㊤（最重度）は 9 人減の一方で、B（軽度）は 18 人増となっています。

障がい程度別 療育手帳所持者数の推移（各年度末・人）

年	総数	内訳			
		㊤	A	㊦	B
平成 29	418	91	85	103	139
平成 30	424	91	83	108	142
令和元	422	85	83	105	149
令和 2	429	85	86	105	153
令和 3	428	82	84	105	157

## 2. 施策の現状

### 補装具支給実績（件数（件）および支給額（千円））

	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
件数	131	103	124	116	80
支給額	12,648	8,503	12,665	10,842	9,468

○主な支給品目（令和 3 年度）

車いす（電動含む）（37）、補聴器（19）、装具（10）、その他

### 日常生活用具支給実績（件数（件）および支給額（千円））

	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
件数	1,357	1,381	1,249	1,300	1,385
支給額	12,507	13,475	11,192	11,629	12,674

○主な支給品目（令和 3 年度）

ストーマ装具（1,168）、人工内耳用電池（12）、入浴補助用具（4）、特殊寝台（2）、移動・移乗支援用具（2）、視覚障害者用体温計（音声式）（1）、視覚障害者用ポータブルレコーダー（1）、視覚障害者用地デジ対応ラジオ（1）、その他

### 難聴児補聴器購入費用の助成実績（件数（件）および支給額（千円））

	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
件数	0	0	0	3	1
支給額	0	0	0	250	38

### コミュニケーション支援事業利用実績（件）

	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
手話通訳者 延派遣件数	18	16	5	1	18
要約筆記者 延派遣件数	0	0	0	0	0

### 手話奉仕員 入門編受講状況（人）

	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3
受講者数	0	1	0	1	3
修了者数	0	1	0	1	3
登録者数	0	1	0	0	3
年度末 登録者数	37	38	38	38	41

## 窓口等の支援

### ①手話通訳者の設置

ふくし課窓口に1名配置（原則月・水・金曜日 8：30～17：15）

令和2年度までふくし課に手話通訳者を配置する「手話通訳者設置事業」を公益社団法人香川県聴覚障害者協会への委託により実施しておりましたが、令和3年度より手話通訳者を会計年度任用職員として1名雇用しています。

通常の通訳業務に加え、庁内向けのメールマガジンの配信、また本年7月からは、ふくし課職員等を対象に、手話講座（月3～4回程度）を始めています。

### ②その他環境整備

聞こえを支援するため、難聴者用スピーカーが1台と小型のヒアリンググループが2台を備えており、窓口対応など必要に応じて利用しています。

### **Net 119**：令和3年度末までの登録者数 30人

聴覚や発話に障がいのあるかたのための緊急通報システムで、全国どこからでも通報場所を管轄する消防本部へスマートフォン・携帯電話のインターネット接続機能を利用し、簡単な操作で素早く119番通報することができます。

### **ヘルプマーク（配布数）**：令和元年度39個、令和2年度33個、令和3年度41個

義足や人工関節を使用しているかた、内部障がいや難病のかた、または妊娠初期の方など、外見から分からなくても援助や配慮を必要としているかたがたが、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマークです。香川県でもヘルプマーク配布に取り組んでおり、本市では、けんこう課およびふくし課で無償にて配布しています。

### **災害時用バンダナ**：令和3年度末までの配布数 87枚

災害時など支援が必要なときに身につけることで、障害があることや手話・筆談でのコミュニケーションなどの支援が必要であることを周囲に知らせたり、支援を必要とする人に手話などができることを知らせたりすることができるもの。坂出市オリジナルの災害時用バンダナを作成し、無料で配布しています。

### 指定避難所等における対応

避難所における避難者世帯にて、障がいの有無，また特記事項として必要な支援を記入していただくこととなります。また，支援が必要となる場合には香川県聴覚障害者協会へ連絡するよう坂出市避難所運営マニュアルにも記載しています。

手話マークや筆談マークの掲示，災害時用バンダナ，筆談ボードについては，各避難場所用に準備し，必要な場合に利用できるようにしております。

**※避難所用筆談器（磁気ボード）：市内指定避難所（市民広場を除く 40 カ所）に配備**

・マグネットペンで書いてペンに付属する磁石で消せる「非電池式」のもの

### 学校での取り組み

当日資料により説明